

平成30年度第2回群馬県保健医療対策協議会 議事概要

- 日 時：平成31年1月22日（火）
午後6時30分から8時00分まで
■場 所：県庁7階審議会室

議題（1）地域医療構想の推進について

・各医療機関における「2025年に向けた対応方針」

○資料1に基づき事務局から説明。

・本県における「定量的な基準（案）」について

○資料2-1～資料2-4に基づき事務局から説明。

○意見、質疑等の概要は次のとおり。

（委員）国の病床機能報告の集計では、各病院の実態の把握が難しかった。今回の定量的な基準で実態が分かるようになって良かった。

（委員）各地域の協議会で定量的な基準を示す際、「地域急性期」に該当する病棟を有する医療機関に、報告方法等を個別に指導するのか。それとも、定量的な基準は参考として、各医療機関の自主的な判断に任せるのか。

（事務局）各医療機関が病床機能報告の際、医療機能を選択する判断材料として定量的な基準を参考に使ってもらおうことを考えている。

（会長（進行））病床機能報告制度は、定義があいまいとか、病棟単位での報告で実態が把握できないなどの指摘があった。引き続き国には制度改善を求めるが、今回検討した定量的な基準で、実態把握が進むと考える。

国は地域医療構想の進捗具合で地域医療介護総合確保基金の配分を考える方針。基金総額確保に資するよう、各地域の協議会で丁寧に説明し、基準を導入したい。

議題（2）第8次群馬県保健医療計画の変更等について

○資料3に基づき事務局から説明。

○意見、質疑等の概要は次のとおり。

（会長（進行））「医師偏在指標」の設定は難航しているようだが、国から何か情報はあるか。

（事務局）現状、特に情報はない。国のスケジュールが遅れると、医師確保計画等の策定に影響することが危惧される。

（会長（進行））本県は、独自に二・五次保健医療圏も設定しているが、国は「医師偏在指標」「外来医師偏在指標」を二次医療圏ごとに定めるとしている。外来診療のあり方も二次医療圏単位で協議するようだ。

（委員）これら指標の設定は難しい問題と考える。県内の医療圏間の医師偏在状況を国がどう示すか、何をどこまでやるよう求められるか、気になるところ。

（事務局）外来診療の協議会は、二次保健医療圏単位より郡市医師会単位など柔軟に対応できないか、今後国が示すガイドラインを見定めて県医師会等と相談しながら進めていきたい。

（会長（進行））事務局は、今後も国の検討状況を注視し、来年度の計画策定に遅れが出ないように、進められる作業は年度内に前倒しで進めてください。

議題（３）新たな専門医制度における専門研修プログラムについて

○資料４－１～資料４－３に基づき事務局から説明。

○資料４－２、総合診療医研修プログラムの一次審査基準における「医療資源の乏しい地域」については、事務局案のとおりで了承された。

○意見、質疑等の概要は次のとおり。

（委員）平成３１年度専攻医一次募集の応募状況について、北関東３県の中で本県の応募数が極端に少ない理由は何か。

（事務局）専門医制度は始まったばかりのため、分析は十分でないが、専攻医の多寡は臨床研修医と同じ傾向にある。臨床研修医の分析結果を参考にすると、栃木県には大学医学部に附属する病院が３つあり、茨城県は本県に比べて人口規模が大きいことが影響していると考えられる。

（会長（進行））昨年度は二次募集で８名の応募があった。今年度の動向を注視したい。

（委員）シーリングの制度には問題があると考えている。応募した後に病院で内定が出せない状況になる可能性があることは、専攻医にとって良くない。病院ごとに定員を決める方が良いと考える。

シーリングで漏れた者を、本県に呼び込むべきと思うが、現状、どのような施策を実施しているか。

（事務局）まだ研究する余地はあるが、現状、プログラムを持つ病院が二次登録についてPRするとともに、県ではホームページ等を通じて周知しているところである。専攻医は臨床研修医と異なり、目的意識がはっきりしていることから包括的な周知活動が難しいため、県医師会及び県病院協会から助言を受けながら有効な手立てを考えていきたい。

報告（１）ぐんま地域医療会議の取組状況について

○資料５に基づき事務局から説明。

（委員）ぐんま地域医療会議が設置されたことで、様々な生きた情報を得ることができるようになり、当院としてはありがたい。これら情報を踏まえ、病院改革を進めていくので、引き続き支援をお願いしたい。

（会長（進行））この会議の取組で、県内医師の勤務状況や不足等実態が見えてきた。今後、医師配置の適正化に向け、取組を一層充実させる必要がある。引き続き協力をお願いしたい。

報告（２）今後の地域医療構想調整会議における配付資料（DPCデータ等）

○資料６－１～資料６－６に基づき事務局から説明。

（会長（進行））今後、地域の協議会でこれらデータを提供する。医師の配置と病床の機能分化は不可分一体の関係で、ぐんま地域医療会議でもこうしたデータを活用しながら議論している。

報告（３）地域医療介護総合確保基金について

○資料７に基づき地域包括ケア推進室長から説明。

報告（４）その他

○資料８－１～資料８－２に基づき事務局から説明。

以上